



新入生を代表して宣言する木戸口智明さん

夢や希望を持ち続ける 葛巻高校の新入生40人

県立葛巻高等学校（菊池優校長・生徒147人）の入学式は4月7日、40名の新入生を迎え、保護者や来賓、教職員が出席し同校体育館で行われました。

菊池校長は「夢、目標がある人は頑張れます。やるべき時にやるべきことをやる。鍛えてくれるものに向かって力を発揮してほしい」と式辞を述べました。

また、新入生を代表し木戸口智明さん（葛巻中学校卒）は「仲間と過ごす日々を大切に、夢や希望を持ち続け充実した高校生活の実現を目指します」と力強く宣言しました。



完成した「非行ぼうし」を手に笑顔の皆さん

明るい中学校生活願い マスコットプレゼント

葛巻地区更正保護女性の会（長岡ハル代表）は、町内の中学校新1年生51人に帽子型のマスコット「非行ぼうし」をプレゼントしました。

このマスコットは、会員5人が色鮮やかなひもやりポンなどを使って一つ一つ手作りしたもの。「家族、近所の人にあいさつを」「励ましあう真の友達に」などのこれからの明るい中学校生活を願うメッセージカードも添えられ、保護司とともに学校を訪問し生徒に手渡しました。長岡代表は「地域のみんが、案じているんだよという気持ちだけでも伝われば」と話しました。

山火事防止パレードで 町の財産山と緑を守る

町山火事防止対策協議会は4月19日、山火事防止パレードを実施、町消防団員、葛巻分署員、町森林組合職員など約40人が参加しました。

出発式では觸澤義美副町長が「山火事防止の大切さを町の皆さんに周知しながら、町の財産である山と緑を守って欲しい」と呼びかけました。

関係者らは消防車両など18台に分乗し、山火事注意の横断幕を掲げ、町内3方向へ分かれてパレードしました。また、5月31日までの防止期間中、巡視員の山林パトロールなども強化する予定です。



山火事注意の横断幕を掲げ出発する消防団員ら

山地酪農研修センター 今年度の研修生は5人

町山地酪農研修センターの入所式は4月5日、くずまき高原牧場プラトーで行われました。第33期生となる今年度の研修生は、町内から2人、町外から3人の計5人。入所式では、研修生一人一人の名前が読み上げられ、鈴木重男町長から入所が許可されました。

研修生を代表して埼玉県出身の酒井春奈さんが「今日からの一日一日の時間を大切に、この一年間、一生懸命自分の力になるように努力します」と研修への誓いの言葉を述べました。これからくずまき高原牧場内での酪農やサービス部門の研修を積みま。



誓いの言葉を述べる酒井春奈さん



名誉賞を受賞した川村竜太さん[Ⓔ]と審査員のライアンウェイゲルさん（アメリカ）

B & Wショー合同開催 川村さん経産牛名誉賞

2012岩手県B & Wショー・第38回岩手県北B & Wショーが4月22日、栗石町の中央家畜市場で開催されました。これまで、栗石町と当町で開催していた2つの共進会を合同開催。昨年は震災の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

県内からホルスタイン種105頭（当町から34頭）が出品、12のクラスで審査され、経産牛の名誉賞は9部の川村竜太さん（栗山）が初めて獲得。各部の最高位を獲得した当町の出品者は次のとおり。▷9部・川村竜太（栗山）▷10部、11部・中村優（大沢）▷12部（同志会対抗）経産牛の部・葛巻町



テープカットする関係者ら

地域密着型の特養施設 すみれ荘増築し20床に

社会福祉法人誠心会（和野喜一理事長）の地域密着型特別養護老人ホームすみれ荘が完成し3月31日、施設の開所式が行われました。

開所にあたり和野理事長は「利用者の皆さんには生きる喜びと安らぎを、家族には安心と信頼を抱くことができるよう誠心誠意尽くしていきます」とあいさつしました。

すみれ荘は、旧星野小校舎を活用し平成19年から13床のショートステイとして運営してきましたが、今回新たに木造平屋建の施設を増築。特別養護老人ホーム20床、ショートステイ3床の施設に生まれ変わりました。